



# なみきり

茨城県笠間市福島五五二  
電話〇二九九一五六一六二三七

（春号）1日寺  
7号（春号）1日寺  
平成27年3月1日  
発行 岩間波切不動寺

http://www.iwamanamikiri.net

## 心について

### — 瑜伽行唯識思想 —

私が勉強している瑜伽行唯識思想は3〜4世紀西北インドで起こった大乘仏教の思想です。瑜伽行唯識思想の瑜伽行とはインド伝統の修行法であるヨーガのことです。

唯識とは一言で言えば、ものごとを「〜として」見ている自分に気づきましよう、ということ。理論ではなく、繰り返し繰り返しヨーガの修行をする中でこのことに目覚めましよう、という思想です。

唯識思想には二つの大きな特徴があります。一つはアーラヤ識説と、二つは三性説です。

アーラヤ識説のアーラヤとは蔵という意味です。始まりも分からない遠い昔から輪廻を繰り返す私たちが一瞬前までに経験したことがアーラヤ識にしまわれているという説です。「経験したこと」とは善いことも、悪いことも、綺麗なものも、汚いものも、



これらのどちらでもないものすべてのものです。見、聞き、嗅ぎ、味わい、感じ、思ったすべてのものごとが、遠い遠い始まりもわからない昔からずっと全部記憶されているのです。目の前に在るものごとは、このアーラヤ識に蓄えられた記憶と照らし合わされた記憶と識別されます。

「これは〜だ」と識別されます。

三性説とはものごとの見えかたを三種類に分けて説明する説です。三性説は「ものごとを見る」といっても、見方によってそのものごとはありのままに見えていないのではないのでしょうか？と問いかけます。三性とは専門的な用語で遍計所執性、依他起性、円成実性の三つです。暗い夜道をひとり心細く歩いているときに見るススキを例にしてみましよう。

遍計所執とは真つ暗な夜道での臆病で心細い心境から、風に揺れるススキを幽霊と見てしまうような見方です。この臆病で心細い心境によって見る妄想や間違いが遍計所執性です。じつは私たちの日常生活は皆こんな状態なのではないですか？ ということです。依他起性とは上の状況で「なんだ幽霊じゃなかった！」、「気のせいで幽霊に見えたんだ！」と、ススキがススキとして見えることです。円成実性とは「ススキ」と言っただけでそれは言葉であって、「そのもの」ではなく、言葉で「そのもの」すべてを表すことはできない。と気づくことです。

これらは理論として頭で理解するものではなく、修行の中で体験し心底理解すべきものです。少々分かりづらいかもしれませんが、修行者は「ものごと」を「ありのまま」に見ることを求めていたようです。

「か・い・せ・は・く」は自分の心が生み出します。人は自分で「か・い・せ・は・く」になります。そして「か・い・せ・は・く」に一度陥ると、なかなか抜け出せません。なぜ「か・い・せ・は・く」になってしまおうのか、考えてみましよう。

毎日生活を不平不満だらけの気持ちで過ごす人がいたとします。たとえばこんな人です。

- ・朝起きた時
- 「あー……朝がきた……ヤダなあ」
- ・出勤前に
- 「仕事行きたくないなあ……」
- ・ご飯を食べるとき
- 「まずいご飯だなあ……」
- ・運転中
- 「いきなり割り込むなあ……」
- 「腹が立つなあ……」

こんな人はいませんか？ 全部に当てはまらなくても少し当てはまる人がいるはず。なにかものごとについて不平不満を言い出すとキリがありません。自分本位のものの見方と、余裕のない気持ちからこんな不平不満が生まれるの

ではないでしょうか。こうなると、見、聞き、感じたものごとをそのまま受け取れなくなり。その結果ものごとを歪めてしまします。

朝はイヤなものでもないし、落ち込むべきものではありません。朝は朝です。夜が明ければ朝なのです。ただそれだけなのに、ヤダなあ……としてしまうのはその人の心です。

一度このような気持ちが起こると、もともとの清々しい気持ちに戻るのは大変です。不平不満というのは自分の心が生み出すものです。不平不満で満たされた心でものごとを見ると、すべてがいらだたしく、つまらないものと感じます。そうすると、不平不満は増し抜け出せない悪循環に陥ります。

さて、一瞬前までに起こった出来事を自分がどのように受け取ったかで「今」の心持ちが変わることを説明しました。「そんな前のごとは覚えていない」と言



▲ヒンドゥー教・仏教の聖地「インド・バラナシ」の護摩行



▲朝のプージャ(礼拝)。インド・バラナシ Assi Ghatにて

う人もいるかもしれませんが。しかし、「私の名前は法忍です。」と言うのも一瞬前までにすり込まれた記憶です。もつと言えば、私たちが話していること自体この記憶の蔵があるからこそなせる業なのです。私たちの心の中はこのような「これはです。」で満たされているのです。そして「今」の心持ちによって目の前にあるものが判断され、「これはです」と命名され続けていくのです。

マザーテレサが言います  
「心によって言葉が変わり、言葉が変わると人生が変わる」と。洋の東西を問わず、心と生き方に対する深い洞察をすると行き着くところはだいたい一緒になるようです。

要は「ものごとをどのようを受けとるか」で、その後の生き方が変わっていくと言うことです。では、どうすれば

歪めず、間違わないもの見方ができるのでしょうか？ 私たちの浅い考えや、目先だけの視点ではどうしてもものごとを歪めて見てしまいます。でも、私たちにしてお不動さんがいます。灯明を点けて、線香を焚いて、姿勢を正してお不動さんの姿を心に描いて「のうまさんまんだら」と何度も何度も唱えるのです。自分が唱えているという感覚ではなく、ただ「のうまさんまんだら」しかない状態になるまで唱えるのです。そうすると、ものごとを歪めて間違ってしまったことから起こる「心の重く苦しい状態」から解放されます。

私たちが瑜伽行唯識思想を理解しようとするとき重要なのは、実際にやってみなくては分からないという事です。理論としてみてしまうと「こういうものなのね！」ということが終わってしまいい、ただの知識にしかありません。お不動さんとながらること、お不動さんの視点でものごとを判断し、心の中を清々しくする。その結果、清々しい心からたくさんの喜ばしいことが生まれます。

ものごとは心に基づき、  
心を主とし、  
心によって作り出される。  
もしも汚れた心で話をしたり、  
怒ったりするならば、  
苦しみはその人につき従う。  
—— 車を引く(牛)の足跡に  
車輪がついていくように。

ものごとは心に基づき、  
心を主とし、  
心によって作り出される。  
もしも清らかな心で話をしたり、  
行ったりするならば、  
福楽はその人につき従う。  
—— 影がその体から  
離れないように。

ダンマパダ(法句経)より

汚れた心でなされたことは、重く消えないもので、清らかな心でなされたことには常に光が射す、ということが言われているのではないのでしょうか。

庭先に咲いた花も、例えば「ああ。仕事に行つてあの人と会いたくないな……」という心で見ると、

「今日はずっと前から好きだった彼とデート！」という心で見るとでは、見え方がだいぶ違うはずです。

心こそ 心迷わす 心なれ  
おのが心に 心迷うな

斎藤明道先生のうた

### 御礼

波切不動寺が新しい場所に動く忙しいこの時期に、筑波大学院博士課程に進学することを自分のことのように喜んでくださった大久保先生、住職、役員の皆様、信徒様方に感謝の気持ちでいっぱいです。  
この気持ちを忘れず今まで通り、まず一番に行をしつつ学問に邁進いたします。





# 運を悪くする、 身体を悪くする 原因の霊障と因縁



## 霊的障災について

### (障り・災い) 書いてみました。

この頃よく「霊が憑いてますか？」とか「霊が見えます。」と言って訪ねてくる人がいます。

皆さん、霊はいると思いますか？

そうですね、私は霊はいると思います。見える人・見えない人、感じる人・感じない人、それぞれいらつしゃいます。霊の話をするとき長くなりますが、聞きたい・知りたいとのご要望が多いので今回思い切つて書きたいと思えます。

## 悪霊・悪神について

### 悪霊

悪霊には、まず迷い死霊があげられます。迷い死霊とは山・川・海・路上・職場などで事故死した霊魂で、地方によっては「通り魔」と言い、どこをあてもなく、さ迷い続ける霊魂で極めて凶暴性を帯びています。

### 迷い死霊

迷い死霊とは死を受け入れられず浮遊して霊のことです。

迷い死霊の中でもいつも7人連れでいる霊魂を『7人ミサキ』と言い、いろいろな災いの(魁け)をする悪霊です。次に風のごとく来て災いをする霊魂を『風のウテ』と言い通り魔的災いを起

します。土地や場所・家屋などに執着しその場所に留まり悪さをする霊を『地縛霊』と言いますさまざまな災いを起こす悪霊です。

## 邪霊動物

四足・長虫・狐狸・クダ狐の霊のこと、心身の欠乏・霊気の欠乏に付け入るもので、この霊は身体に入りやすい悪霊です。

屋敷内あるいは関係ある土地に、祀り神がある家でお宮が古びていたり、台が低すぎたり、今まであった社を取り壊したり、お祭り不足等で守り神が悪神化してしまいます。

山や土手を削つたり、田や川や池・井戸を埋めたり、神木を伐採したり、大木を伐採したりするとそこに鎮まっていた神(荒神様)が怒り悪神化します。

## 悪霊・悪神は

### どんな人に憑きますか？

「憑く人と憑かない人がいます。憑かれる人はどんな人か？」

▼身内近親に急に亡くなった人・変死した人・若死にした人のいずれかがいる人です。

これを身内近親の迷い仏と言い、普通の供養や年忌弔いでは容易に成仏できず、亡くなって20年、30年経つていてもまだ迷っている最中です。迷っている間はちやうど、水に溺れている時のように、非常な苦しみの連続であり、この苦しみから逃れようとして身近な人縁者に頼り救いを求め憑くのです。水子も同じように親・親族に憑きます。

▼身体の過労・運動不足・飲食上の不注意または、怒りや悲しみ、悩みなどで心に虚(隙間)があるとその心の虚(隙間)に悪霊が入り込みます。

▼本人は気づかなくても間違え事や、その他総じて怒り怒れるなどのことにより生じた罪障殺気(うらやむ・競いねたむ、の意を含む)邪気・生霊などを持つていると、神仏の加護が薄くなり心の虚(隙間)に悪霊が入り込みます。口舌争

論・立腹も同様です。

▼一般の人は宇宙の法則(毎年回る星の動き)、数理の順逆について、正しい見方を知らないから誤つて凶悪の方位に動き、星回りの悪いときに移転・普請・結婚などに凶方位を犯した方位殺を持つている人も憑かれやすいです。

▼福徳利欲の問題または、色情縁談ごとについて起こる罪障、怨念・呪詛などのある人も憑きやすい人と言えます。特に色情問題で墮胎などしていると、自分だけでは済まされない事態に陥ることもあるのです。

▼田畑、山林、土地、家屋などの売り買い、お金の貸し借りあるいは、代金の踏み倒しといった職業上のことなど、その他総じて立腹ごとがある人は、悪霊に憑かれやすいと言えます。

▼屋敷内に祀られていた神を疎略にして、お祀りをやめてしまつたりすると、当事者だけでなく家・家族にも悪神が憑きやすいです。

## 憑かれた人はどうなるのか？

憑かれた人は運氣が落ちます。何をやつてもうまくいかず、事業の不振や訴訟事、あるいは交通事故、縁談のもつれまたは、子供の不良化、家族の不和、病弱、原因不明の難病、精神疾患等、大変な状況に陥ります。そして最後は貧乏神がすみついてしまい家庭破壊にまで追い込まれます。怖い話ですが実際に起こつています。





### 悪霊・悪神に、憑かれたら、 また憑かれないためには？

#### 二座式の先祖供養・水子供養をしましょう

急死・変死・若死にした人の供養をすると、不思議に迷い死霊も同時に供養されて運が良くなります。つまり急死・変死・若死にした先祖は自分が死んだことを認められず、生に対する執着が強いため、成仏できません。そこに迷い死霊が取り憑き成仏を妨げているのです。

二座式供養とは一座目で迷い死霊の供養をして、二座目で急死・変死・若死にした先祖の供養をすることです。この供養を2度3度と行なうことで不思議に病気が治ったり、運が良くなったりします。水子供養も同じです。

### 葬儀をやりなおしましょう

人間が亡くなると、お坊さんは枕経・通夜経・納棺経・本葬経・火葬経と順次、経をあげ死者を弔います。しかし昨今は病院で亡くなると、直接火葬場や葬儀場に死者を運び、葬儀をしようとするので、枕経もあげず、通夜もせず、いきなり本葬15分程度の経で葬儀終了。すぐに火葬してその日のうちに49日供養です。

死者本人は死を自覚しないまま突然肉体を焼かれます。普通は経で「貴方は死んだんですよ、死んだんですよ」と教え諭し死を自覚させ、死者を引導してやるのです。しかし死者は15分程度の経では、死を自覚できず、そのうえ魂を包んでいた肉体も焼かれ、魂の拠り所が無くなりふわふわと浮遊して

親・兄弟・子供・親類・知人・友人を頼り憑くのです。

葬式は死者のために行うもの、しっかり拜んで死を悟らせ引導してやることが大切です。このところ死後何年たっても死を悟られずいる迷い仏を見かけることがあります。何年何十年経っても葬儀のやり直しはできません。

#### 49日法要をきちんとしましょう

最近では、葬儀の後すぐに49日法要をしていますが、大きな間違いです。死者は七日ごとに裁きを受けると考えられています。

初七日(7日目) 不動明王の裁きを受ける。

二七日(14日目) 釈迦如来の裁きを受ける。

三七日(21日目) 文殊菩薩の裁きを受ける。

四七日(28日目) 普賢菩薩の裁きを受ける。

五七日(35日目) 地藏菩薩の裁きを受ける。

六七日(42日目) 弥勒菩薩の裁きを受ける。

七七日(49日目) 薬師如来の裁きを受ける。

忌明け・四十九日までを「中陰」、四十九日を「満中陰」と言い最後の裁きを受ける四十九日は、極楽浄土に往けるか決まる重要な日です。きちんと四十九日供養をしてやると忌明けとなるため、迷わず極楽浄土への道に歩みだし、さまざまよつたり、浮遊することはなくなるのです。何年何十年経っても四十九日法要が終わっていないと現世に留まり迷い仏となります。今その先祖が大勢さ迷っているのです。気付いたら四十九日の供養をしてあげましょう。



#### 荒神供養をしましょう

削ってしまった山や土手はもとの形に戻せません。川や池・田や畑・井戸を埋め、運が悪くなったとはいえ掘り起こすのは無理があります。我々ができることは、荒神様に無礼を謝罪して供養することです。すると荒神様の怒りが収まり、悪神が善神にと変わり供養した人を守護してくれる、守護神となります。

#### お不動様のお護摩の火を浴びましょう

お護摩はプラスのエネルギーです。どんな邪気も焼き切って一人一人の体を不動のエネルギーで包んでください。また波切不動寺のお不動様は信者さんの心を変えることの上手なお不動様です。嫌でも心を変えてください。

#### 自分の心を変える努力をしましょう

腹を立てない・怒らない・恨まない・嫉まない・執着・愚痴を言わないなど、自分自身の心身を穏やかに、明るく感謝の気持ちで日々過ごす努力をすることで、悪霊・悪神と出会わないようになります。明るい心・感謝の心には、悪神・悪霊は寄りつけません。また他者の喜びとともに喜ぶと、その喜びの半分を頂戴できるのです。



▲日頃知らず知らずに作っている災いの種(罪、とが、穢れ、執着、欲)を護摩の火で焼き尽くしましょう



### 清潔に、整理整頓をしましょう

住まいの汚れ、片付けられない物が散乱している部屋は悪霊・悪神の住処となります。

### 因縁とは

因縁の「因」とは原因です。「縁」とは、それにまつわる環境などの間接的な原因です。たとえば、「男」という原因に「女」という縁が交わると、「子」ができます。「父」「母」の和合によって「子」が生まれます。「父」と「母」にも「祖父」と「祖母」が各々います。

という具合に一つの「子」という結果を見てみるとたくさんの「原因」と「いきさつ」が複雑に絡み合って「子」という結果が生まれ、そして生まれるということが「因」になります。生まれたことによつて、人生の時を過ごす中でいろいろ「縁」(外的要因)を受けます。

そう考えると「今私が生きている」ということには、考えても考え尽くせないほどの因縁があると言えるでしょう。今が「因」になって、自分を取り巻くさまざまな環境によつて明日が変わります。例えば、一人の学生がいたとします。夏休みひと月の過ごし方で、二学期に会うと別人のように変化していることがあります。どうということかと言えば、パチンコをして不良仲間と過ごすか、汗水を流してアルバイトをするか、仲間と東北一周の無銭旅行をしてたくさんのお金を出を作るか……などで一ヶ月前とは別の人になってしまうのです。

### 二座式供養をすると、良い「縁」が結ばれます。



一座目の供養で全く縁のない人にも施すのです。まったく縁のない人に「ありがとう」「すまないねえ」といわれる因をつくるのです。二座目の供養は、自分が生まれる原因になっている「根っこ」が喜びます。

霊障を取り除くには先祖供養・水子供養・二座式供養・荒神供養・葬儀のやり直し、49日法要のやり直しが一番有効な方法と考えられます。

\*因縁を消滅させるには右の方法に加え、時間がかかりますが布施修行が大事です。布施については左をご覧ください。

### 財施

・ご寄進(寺に必要な物品を寄付する)

・寺の手伝い(時間と労力を寄付する)

例: 寺の掃除・草取り・仏器磨きなど

### 法施

・教えを説き与える(動行をする)

### 無畏施

・恐れ、苦惱を取り除く(安心を与える)

大般若のご寄進などが財施にあたります。財施、法施、無畏施をしていると、大きなご利益をいただけます。

ご利益は良縁です。良縁と言うと結婚と考えがちですが、少し違います。例えば

- ・利益のある会社と取引ができた
  - ・良く働いてくれる社員が入社した
  - ・名医に出会い病気が治った
- などです。

縁によつて人は暮らしています。

悪友、悪い会社、悪い環境、悪い食べ物など自分を取り巻くものが変わっていくと、生活環境が良くなるのです。このご利益はまず孫がもらいます。次に子供、そしてやつと自分の順になります。

考えてみてください。かわいい孫がケガをしたら、病気になるたら、いじめられたら身を切られるほどつらいですよ。布施をして

おくと、その功德で子孫が繁栄するのです。

霊障・因縁は波切不動寺で実際起こっている現象です。怖いことですが事実です。寺では毎朝毎朝護摩を焚き、お不動様のお力を増大させ、皆様を御救い下さるようお願いしています。どうぞご相談ください。真剣におすがりすると運氣が変わります。変わってきたら、天部の神様を拝みましょう。天部の神様は即ご利益をくださる神様です。一生は一度きりです。自分の思い描く人生にしましょう。ご利益をいただいている方が大勢います。





天部とは(天のつく神様)で左記の4体です。

・荒神様

(28日不動護摩の後)

・災難除け、悪難除け

・お稻荷様

(月の初めの午の日、19時から)

健康、五穀豊穡、商売繁盛

・弁財天様

(17日十一面観音護摩の後)

商売繁盛、技芸向上、学業成就

・大黒様

(甲子の日二か月に一度0時から)

いただいたご利益を御蔵に貯蔵する

### お知らせ

#### 信徒会館上棟式

期日：3月21日(土)

場所：石岡市東成井1617-15

時間：午前11時より(雨天決行)

\*式典後、餅まきがあります。信者の皆様が集える会館です。

万障繰り合わせの上、ご家族お揃いでご参加ください。

喜び事に会うと運が良くなります。運を引き寄せるチャンスです。

#### 柴燈護摩の中止について

毎年5月4日に行っていました柴燈護摩は、近隣住民に迷惑をおかけするため、しばらくの間中止致します。変わって夏越の大祓を行います。

#### 遷座式について

期日：5月31日(日)

場所：石岡市東成井1617-15

時間：午前11時より(雨天決行)

\*お不動様はじめ波切不動寺の仏様・神様を新しいお堂にお移しする日です。

(仏様・神様のお引越しです)人生の中でこのような行事に出会える人は、神仏から選ばれた人です。今からその日を開けて予定しておいてください。家族お揃いでおでかけくださり、神様・仏様にお祝いの心を奉げてください。

#### 夏越の大祓について

期日：6月20日(土)

場所：石岡市東成井1617-15

(新本堂兼護摩堂)

時間：午後19時より

内容：1月より6月までにつくった罪・穢れ・難・業(カルマ)をキュウリ封じの秘法により封じ込め、後半7月からの新しいスタートをする儀式です。今年から柴燈護摩に代わって行います。



キュウリ封じの秘法は今から約1200年前、真言宗の開祖・弘法大師が薬師如来の本願によって病魔・悪鬼をキュウリに封じ込め、病を癒し自らの生命力を増進させ無病息災を得られたことが、その始まりと伝えられています。

\*6月に夏越の大祓いでキュウリ封じをします。

キュウリ封じとは人型に自分の悪い所を記入し、体を撫でて息を吹きかけ、穴をあけたキュウリの中に封じ込めることです。その後、キュウリを土中に埋め、腐るまで拝みます。病氣封じ・呆け封じ・うつ病・ギャンブル依存症・生活習慣病除けを願う秘法です。あわせてお札を7日間拝み肌守りとします。以上、5000円程度の修法とお考えください。

お札は一人一人の名前を入れた肌守りとし、いつもカバンやバッグなどに入れて持ち歩きましょう。特に天災・盗難・悪縁を切る功德に預かるものになります。これを一年間持ち歩き、一年後に寺に持ってきて、受けたい災難を消滅させるのです。

お札は他の寺・神社に持って行くこと災難などが飛び散って、逆戻りしてしまいます。必ず波切不動寺にてお焚き上げをする必要があります。

### 年間行事予定

- 1月1日～3日 正月護摩
- 2月3日 節分祭
- 2月最初の午の日  
初午大祭(午後7:00～)
- 5月30日 夜に神様の遷座式
- 5月31日 遷座式  
大般若法要 輿一につき  
稚児2名・神輿行列
- 6月第3土曜日 夜  
夏越大祓い  
(キュウリ封じと荒神祭)
- 8月16日  
盂蘭盆会送り火法要
- 9月23日 秋彼岸法要
- 10月4日 落慶法要・  
稚児行列・護摩付き大般若経
- 12月第2日曜日  
年越の大祓い  
(焼八千枚護摩)

### 大般若ご寄進の御礼

大般若六〇〇巻のご寄進ありがとうございました。おかげさまで予想を上回るスピードで集まりました。しかし大般若の功德を聞いて「それなら私もご寄進したい」と熱望される方が多くいます。そこで法忍さんのご寄進分を、別のお経のご寄進に変えることで、五〇巻分の空きができました。ご希望の方はなるべく早くお申込み下さい。代金の残り分は信徒会館建設の費用にあてさせていただきます。会計報告は後日致します。重ねて御礼申し上げます。

### 報告

このたび、波切不動寺の副住職『幕内法忍師』が猛勉強の結果、見事に筑波大学・大学院に合格しました。3月に大正大学・大学院で仏教学を卒業、4月からは筑波大学・大学院で仏教学を学ぶことになりました。勉学と修行ですが、これまで通り頑張っていくと思えます。応援の程よろしくお願ひします。ありがとうございました。